



建設科は土木コースと建築コースの2つのコースを合わせて1つのクラスとなっています。各コースの定員は19名です。本校への進学を考えている中学生の皆さんに向けて、各コースの紹介をします。ぜひとも建設科への進学も考えてみてください。皆さんと出会う日を楽しみにしています。

建設科の紹介

○土木コース



測量実習 (1～3年生)



土質試験 (3年生)



橋梁模型の強度試験 (3年生)

土木コースでは、道路や橋梁、上下水道、河川港湾などの生活に必要な社会基盤について学びます。将来、建設現場の安全や工程を管理して期限内に工事を完成させる現場監督になる生徒、土木工事の設計に必要な測量や土質等の調査を行うコンサルタント業務を行う生徒を育成しています。そのために必要な知識や技術を多くの教科に振り分けて、少しずつ学ぶことができます。在学中に測量士補や2級土木施工管理技士補に合格する生徒もいます。

多くの卒業生が地元の建設業で働いており、多くの事業所が本コースの生徒を求めています。また難関ではありますが、国・県・市町村役場の土木系の公務員に合格する生徒もいます。

○建築コース



測量実習 (1年生)



ドローン実習 (2年生)



木造実習 (3年生)

建築コースでは、建築物を建設するために必要な幅広い知識や技術を多くの教科に振り分けて、少しずつ学ぶことができます。建築製図では図面の読み方や線の引き方から学び、3年生になると住宅の設計をして図面を描く課題にも取り組みます。本コースで指定科目を修めて卒業すると2級建築士の受験資格が得られます。在学中に2級建築施工管理技士補の取得に挑む生徒もいます。

卒業後の進路は、就職が約5割、進学が約5割です。本校の女子生徒は全校生徒の約8%であり、女子生徒が少ないですが、そのうちの約半数が本コースに在籍し、他科に比べ女子生徒が多くいます。